

# 「霧」発生時における事故に注意!

## 霧による事故事例「船位喪失（自船の位置を見失うこと）」

霧の影響で視界が悪化したことにより、操業中の漁船が自船の位置を見失い、巡視艇により救助されました。当時の視程は約300メートルであり、気象庁からは「海上濃霧警報」が発表されていました。



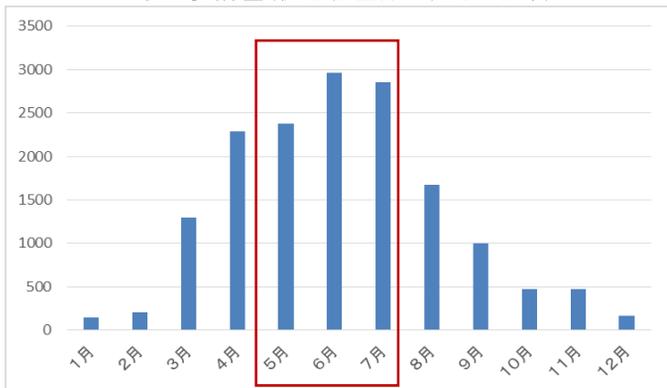
霧の中、船位喪失した漁船

霧発生時は視界が制限されます

- ◎衝突の危険 ⇒ 見張りの強化と安全な速力
- ◎乗揚の危険 ⇒ 見張りの強化と船位確認
- ◎船位喪失 ⇒ 「海の安全情報」等により現在位置を確認

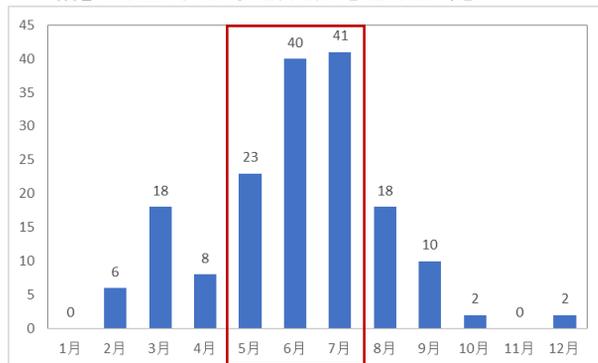
## 夏季に向けて、船舶の「霧」発生時の海難が多発

海上濃霧警報発令回数（2015年）



気象庁提供データをもとに作成

「霧」発生時の海難件数【過去5年】



主な海難例  
衝突、乗揚、船位喪失等

## 「霧」発生時の小型船舶の事故防止のために

**現在位置が確認できます!**

「海の安全情報」スマートフォン用サイト  
<http://www6.kaiho.milt.go.jp/sp/index.html>



「海の安全情報」携帯電話用サイト  
<http://www6.kaiho.milt.go.jp/m/index.html>



※内航船舶向け、霧海難防止強調運動も実施中です。(裏面参照)



平成28年度

■実施期間

平成28年4月29日～7月31日

# 霧 海難防止強調運動

スロウダウン  
全ての見張りを  
研ぎ澄ませ!

## ■重点項目

- 見張りの徹底  
レーダーによる連続した他船の動静監視を行う
- 安全な速力での航行  
必要な場合はためらわず行脚を止める
- 気象状況の早期把握  
最新の気象・海象情報を把握する
- 早期の避泊  
無理な航行を止め視界の回復を待つ

視程が確認できます



伊良湖岬の視程



名古屋港の視程

【主催】

海難防止強調運動推進東海地方連絡会議

【連絡先】

(公社)伊勢湾海難防止協会 052-651-0522  
第四管区海上保安本部 052-661-1611